

高い技術力に支えられた 金属熱処理加工

1909年創業、38年に会社設立。一般熱処理や表面硬化熱処理等、金属材料・部品の金属熱処理加工全般を行っている。同社の加工品は、自動車、建機、船舶機械、工作機械など幅広い産業用分野において使用されており、長年培ってきた独自の技術開発力を有している。社内に約200名の経験豊富な金属熱処理技能士が在籍しており、技術力を支えている。海外事業も展開しており、2012年に中国現地法人を設立、増加している金属熱処理加工の需要に対応している。

所在地 大阪府大阪市西淀川区福町1丁目6-20

電話/FAX 06-6477-3881/06-6477-3888

URL <https://www.tonez.co.jp/>

代表者 代表取締役 大山 照雄

設立 1909年

資本金 8,203万円

従業員数 318人



業界最古参企業として培ってきた高い信頼性

創業以降百年以上積み上げてきた技術力により、幅広いニーズに対応できるため、各メーカーから信頼を得ており、製鋼メーカーをはじめとする多くの上場企業、有力企業から熱処理工場の認定、指定を受けている。また、有効直径4mの世界最大級ピット型ガス浸炭炉や円筒形状超薄肉長尺品の熱処理を行うガントリ型熱処理設備など、他社にはない大型設備を備えており、金属熱処理技能士資格を保有する技術力の高い社員による運用によって安定した生産能力を生んでいる。



創業者 木村延一(右)

中国に工場を設立、海外でも質の高い金属熱処理加工を提供している

2012年に中国に現地法人を設立し、翌年に操業を開始している。国内企業が生産拠点を海外に移転させるのに伴い、海外での熱処理加工ニーズの増加に対応するため進出した。主に日系企業の海外生産拠点からの受注に応じ、日本国内と同様なクオリティの高い熱処理加工を提供している。日系企業の中国における自動車の生産・販売に大きく貢献しており、今後、さらなる海外市場を見据えた事業展開を進める予定にしている。2015年には、タイに現地法人を設立した。



中国工場の全景

リジェネバーナー導入で大幅な省エネと生産性向上を実現

エネルギー多消費産業である熱処理業にとって、生産性の向上や環境負荷低減の達成のためには省エネ対策が不可欠である。同社では高効率に排熱回収できるリジェネバーナーを2011年に高砂第二工場の大型ピット型浸炭炉に導入した。その後、老朽化設備の更新投資のタイミングで、順次、各工場へのリジェネバーナーの導入を進めている。また、ガス供給業者の協力や省エネ事業補助金を積極的に活用し、こうした取組を通して大幅な省エネを実現した。



大型ピニオン出炉